

## 第 8 回 和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校統合準備委員会 会議録

日時	平成26年 7 月 23 日（水） 19時00分～20時22分
場所	和地市民館
出席者	委員（24名） 小久保昌彦、高瀬 勲、小久保忠廣、荒木和人、間瀬康広、河合一成、小久保善和、杉浦幹弥、糟谷芳伸、小久保正之、田中正規、太田聖子、間瀬和幸、島津 修、林 晶子、小久保昌英、小久保久美子、尾澤明敏、大倉恭子、鵜飼亜由子、石橋梨恵、藤城信幸、丸井良徳、河合正人 事務局（8名） 教育長、前田教育部長、中村教育総務課長、三竹教育企画室長、山本学校教育課長、鈴木文化生涯学習課長、清水教育企画室主任
欠席者	横田 威
傍聴者	4 人
事務局	開会
委員長	（委員長あいさつ） きょうは、教育長が出席されておりますので、あいさつをお願いします。
教育長	（教育長あいさつ）
委員長	それでは、早速協議事項に入ります。 協議事項の 1 伊良湖岬小学校建設地等の今後の考え方について、前回、提案協議されたものです。今回、何かご意見があればお聞きし、この考え方について了承をと思っております。 もう一度、「今後の考え方」について説明をお願いします。
事務局	それでは、資料 1－1、「8 校区の検討状況を受けての建設地の今後の考え方」について読み上げます。 （資料 1－1 により説明）
委員長	説明が終わりました。伊良湖岬小学校の建設場所、伊良湖岬中学校の移転時期・移転場所について、今後の考え方が示されております。この考え方は、統合準備委員会での協議、渥美 8 校区の考え、我々、岬 3 校区の考え方、これらがまとめられたものと思っております。 前回、持ち帰りで検討し意見をということでした。これについて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。
委員	伊良湖岬小に統合してから伊良湖岬中の移転先を決めるという話がありましたが、保護者と個別に話をしていると、「子ども達は不安なので移転先を早めに決めてほしい」という意見がすごく多かった。できれば早めに統合先を決めて、子どものケアをしていきたいと保護者は思っています。制服なども変えなければいけない。赤羽根中に行く、福江中に行くといっても、統合が決定しているのであれば、最初に統合先のジャージや制服を買えば経済的にも助かる。統合するのであれば、早めに決定してほしい。

委員長	伊良湖岬中の移転先を、和地小で一緒になって 1 年後ではなくて、もっと早く決定してほしいということですか。
委員	今から話し合っ、統合先を決めてもらえれば、子どもの心の準備や経済面で助かるのではないかと思います。 あと、平成30年度に他校に統合することは、もう決定なのですか。
教育長	平成32年度までに新しい小学校をつくって入るということになる、平成30年度に移転しないと間に合わないということですか。
委員	それは、絶対決定ですか。
事務局	平成27年度から伊良湖岬小学校として 5 年間、今の和地小学校で生活してもらうこととなります。目標として、平成32年 4 月に新しい学校をつくりたいと以前から話をしていますので、その予定でお願いしたいと思います。校舎建設には 2 年程度必要ですので、平成30年 4 月からは中学校を新たな場所へ移転してもらうスケジュールを立てていきたいと思っています。
委員	絶対決定ですか。
事務局	そういう考え方で進めていきたいと思っています。 子どもさんのことでいろいろご心配のことともわかります。伊良湖岬中学校の再編については、岬 3 校区で、例えば伊良湖校区のアンケートでは福江中の希望が多かった、和地校区では赤羽根中の希望が多かったという状況でした。さまざまな意見がある中で、一つの方向を出していくのは時間がかかるのではないかと考えています。 教育委員会としては、伊良湖岬中の移転先を今の時点で決めるよりも、和地で一緒に学校生活を 1 年ぐらいして、伊良湖岬 3 校区の皆さんや保護者の方のご意見を聞いて決めたいと考えております。1 年半ぐらい議論をする時間がありますので、渥美 8 校区の考え方もありますし、渥美地域のこともあります。伊良湖岬 3 校区の考え方を基本的に方向性を議論して、最終的には教育委員会で決めていくということで行ってまいりたいと思っています。 皆さんと協議したり、意見を聞く具体的な移転先の決定方法についてはまだ決めていないので、これから伊良湖岬 3 校区の皆さんと相談して決めていきたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。
委員	要は、結局、決めるのは教育委員会側で決めるということですか。PTA で決めていいという話を聞きましたが、違うのですか。
事務局	PTA で決めていいかという、そういうことではないです。
委員	そういう依頼が来たと思いますが。
委員	校区でそういう話を聞き、PTA 部会としては、協議して決定方法を決めましたが、それを校区に報告したら「待ってください」ということでした。
事務局	それは今年の 5 月に渥美 8 校区の協議などで、伊良湖岬 3 校区で校区会長さんたちが話をされているときに、伊良湖岬中学校問題の方向性がなかなか一つにまとまらない中で、校区から PTA の方に考えてほしいという話があったのではないかと思います。その意見をそのまま決定するというのではないです。

委員	保護者の中で、伊良湖岬中は福江中に行くのが決まっていると聞いて、いろいろなところに問い合わせをしたそうです。教育委員会に電話をしてもそういう意見だったし、中日新聞にも問い合わせをしても「福江中に決まっている」という返答があったようですが、どうですか。
事務局	P T A 部会の際にそういうことを聞いて、びっくりしています。誤解を招いたかもしれません。
委員	中日新聞にも問い合わせたという意見もありましたが、中日新聞の方も「もう決まっているらしい」ということでしたが、そこら辺はどうでしょうか。
教育長	移転先は決まっています。
委員	それは、どのように出てきたのか私もわかりませんが。
教育長	いろいろなうわさが広がっているようです。 こちらの 1 案の福江中、2 案の赤羽根中、3 案の福江中又は赤羽根中、それについては全く決まっています。これから、伊良湖岬小に通い始めるといろいろな意見が出てきます。伊良湖岬 3 校区、渥美 8 校区からも意見が出てきますので、それらを踏まえて総合的に教育委員会が判断します。
委員	この「今後の考え方」の理由の 1 番で、伊良湖岬中の統合に対しての理由として少子化しか書いてありませんが、防災面も書いてもらえますか。 現状、少子化と防災面で伊良湖岬小になるわけなので、伊良湖岬中が動くのは少子化問題かもしれないが、防災面も少し考慮してもらわないと困るのです。
事務局	その辺は、今後、決めていく中で議論を重ねて、そういうことも含めて意見を言うていただきます。
委員	資料 1 - 1 の案につけ加えてほしい。
委員	今の伊良湖岬中の位置だと、海拔が 21メートルあります。海拔が 21メートルあっても防災面で不安があるということですか。
委員	統合する理由は少子化問題かもしれませんが、防災面も考えてほしい。 せっかく伊良湖岬小が和地に行っても、伊良湖岬中の移転先が福江中だと防災面で不安です。
委員	そもそも伊良湖岬中が移転をしなければいけない理由は少子化ですよね。だから、少子化で中学校として単独でやっていくのはなかなか不都合な点が多々あるから、どこかへ統合先を見つけて一緒になる。だから伊良湖岬中が動かなくてはいけない理由としては少子化ということだと思う。
委員	伊良湖岬中は少子化がメインで移転するのはわかります。
委員	それでいいのではないかと思います。 当然、伊良湖岬中の移転先をどこにするかと言ったときには、今、言われた防災面やいろいろな条件から考えていくことであって、伊良湖岬中が移転しなくてはならない理由は、子どもが少なくなると単独で一中学校としてやっていくにはいろいろ不都合な面が多いからではないかなと思うわけです。
事務局	移転先を検討していく中で、防災面などを考えていくということによろしいのでは

	ないでしょうか。
教育長	<p>中学校の統合先は、いつ決めるということだけしか書いてなくて、どこに行くべきかという議論は後にするという事です。</p> <p>どこに行くべきかの議論をするときに防災のことも、少子化のことも考えなければいけないという話です。防災面は次の段階で議論する話で、中学校をどこに持っていくかという議論のときに出てくるわけです。</p>
委員	堀切小が移転する理由は、防災面で危ないからということでは。
委員長	早めに伊良湖岬中の移転先を決めてというご意見もありましたが、いかがですか。
委員	結局、今の 5 年生は、初めに伊良湖岬中のジャージを全部買いそろえて、統合時の 3 年生のときに新しい中学校のジャージにするということですか。
委員	その辺は、学校の運用面で併用できる形になっていくのではないかと思います。
委員	<p>ジャージの話だけではなくて部活動のことについても、伊良湖岬中の 1 年生から、赤羽根中なり福江中の部活ができるなら、3 年生で中学校が一緒になったとしてもすんなりそこに入れると思う。</p> <p>中学 1 年生で部活に入って、移転先の中学校に例えば男子バレーボール部があったとしたら、伊良湖岬中にはないので仕方がないから伊良湖岬中ではテニス部に入ったが、3 年生になったら男子バレーボール部がある。入りたいが、今、入ったらレベルが全然違うから、入れない。そういうことがないように中学校 1 年生の最初から移転先の中学校にある部活ができるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>まずはユニホームの件で、今、野田中と田原中の統合では、先ほど言われたように二つ買うのはもったいないから、ことし入学した野田中の 1 年生が田原中のユニホームを買いました。しかし、対外試合のときに野田中の子が田原中のユニホームを着ていくと、自分達も野田中にいながら田原中のユニホームを着ることに抵抗感があって、周りの人達からも「何で野田中なのに田原中のユニホームを着るの」といった目で見られているように感じられて、結局、野田中の今までの体操服を着始めたと。先輩の体操服などを集めながら、結局、野田中にいるときには野田中の体操服を着たいと生徒達は言い始めて、今のようになりました。</p> <p>ですので、今度、田原中に行ったときに野田中の体操服でもいいという緩和策があるかもしれない。その方が、野田中の伝統を守って、野田中に誇りを持ってやりたいという子ども達の気持ちを、何となく踏みにじっていく状況にはならないのではと思います。</p>
委員	それはわかりますが、親としても、中学校にいるときはその体操服を着せたいと私も思いますが、子どもが 3 人、4 人、5 人という家庭が多いです。そうすると経済的なことを考えると 1 枚買うのも結構な出費です。
委員	ユニホームなどは、今は学校ではなくて自分持ちですか。
事務局	ユニホームは自分持ちのところが多いです。
委員	統合による移行期に補助があればいいかなと思う。
事務局	それから、部活面で言いますと、たくさんの部活を小さい学校は持つことができま

	<p>せん。今、野田中で一つ、剣道部の女子をふやしました。剣道部男子だけだったものを女子なら一緒に活動できる、そのぐらいの広がりしかないです。</p> <p>ですから、あれもこれも、あそこに行ったらあれができるというところは、まだ最初の子達はないというのが現状です。</p>
委員	統合が決まったら、統合先で部活を一緒にやればいいのか。
事務局	一緒にしてもいいが、今の、例えば野田中と伊良湖岬中で、統合先と同じ種目をやるほど先生達もいない。
委員	統合先へ移動して部活動をしてはどうか。
事務局	<p>統合先に行くのも非常に距離や時間がかかり、理想と現実は違うものです。</p> <p>それからもう一つ、部活の中で何を育てるかということ、子ども達は、例えば自分達の学校にある種目の中で目標を設定し、仲間と一緒に上げていくことが大事なので、田原中の先生が言われたのは、1年生が2年生になってから部活を変えることが、例えばその子にとっていいことかということ、じっくり考えなければいけない。今までやってきたこと、積み上げてきたことを生かしていくのが大事だという発想もあるので、移転した過渡期の子ども達は何でも行ったところの部活を選べるという形には、なかなか得ないという状況です。</p>
委員	過渡期の一言で済まされると、その子どもを持つ親が……。
事務局	それは、理想と現実というのは非常に難しく、そこで何を子ども達に大切に育てていくか。何でもかんでもできるものではないので、どこかで制限があったりして、できないことというのがある。
委員	結局、ちょうど今5年生の子どもが2回もその過渡期を迎えるのです。
事務局	<p>この間の野田中の統合準備委員会では、子ども達が今までやってきたことを田原中に来たときにどう生かすかといったところは、保護者の方々と学校と一緒に子どもを支える方向で話をしていくことが大事ではないのですかというように田原中の校長先生は語られていました。</p> <p>ですから、最初の子供達に、学校が変わって部活は何でもできるよという言い方を保護者の方がされたりすると、子どもは何でも選択できるということからの失望感とか、あるいは選択を変えていくことによって、自分の今までやってきた成果が出なかったこと、また、違う種目に変えて成果が上がるかということ、そこも問題があって、そういった面で子どもをどう育てるかといったところが大事になってくるのではないかとされていました。</p> <p>そういったことも踏まえて、この変わっていくところについては、家庭と学校が十分話し合いながら、そこをうまく乗り切っていかなければならないと思っています。</p>
委員	今は、身近な学校の統合という話でいろいろな説明をされているが、特に中2、中3になると結構負担がかかってくると思うので、例えば部活の合わせ方とか、子どものなじませ方とか、過去の統合を経験してきたほかの学校の統合までの取り組みとアフターケアなどの事例を、愛知県の教育委員会だとか、他県の教育委員会に調査して、

	今回の統合に役立ててほしいと思うので、そういう調査のお願いはできますか。
事務局	それはできます。そういったところのノウハウみたいなものがあれば、それを生かしていきたいと思います。
委員長	ほかにどうでしょうか。
委員	<p>ここは小学校の統合の話をするところですが、今の 3・4・5 年生が小学校で、とりあえず和地に移動する。その後、その 3・4・5 年生の子ども達は中学でもまた移動するという、その短い期間で 2 回移動があることは別物とは考えられないので、ここに関係のない話ではないと思います。</p> <p>短い期間で 2 回移動することに対して、子ども達への考慮といえますか、考えというのはなかったのか。統合を 1 回にしてあげるためにその間をあけるとか、そういうことはできなかったのか。子ども達のために統合時期を変えることは考えられなかったのでしょうか。</p>
委員	保護者から、そういう話は最初から出ていたとは思いますが、決まりと出ているということは、その辺について考慮していただくことはなかったということですね。
教育長	<p>経緯から言うと、最初は 3 小学校を集めて伊良湖岬中の場所に行くということでした。しかし、特に堀切校区からは、危ないからどうしても一時も早く動かしたい。それで、暫定的でいいから和地に移転という話になりました。</p> <p>だから、従来なら一度で伊良湖岬中に新しい小学校をつくるというプロセスになるのですが、結局、それを待っていたら 5 年も 6 年もたってしまうということもあって、なるべく早めに、まずは小学校を移そうではないかという経緯があったように思います。そのことのメリットと、今の子どもが 2 回も動いてしまうというデメリットと比較考慮すると、どこかで我慢しなければいけないと思ったときに、最初に動かしてくれという、動かした方がいいという、堀切を中心とした声は優先すべきだったのではないかと考えています。</p>
委員	<p>同じような話になりますが、去年、教育委員会の方で堀切小に来て説明していただいた経緯がありました。そのときも教育委員会のたたき台が既にあったことからすると、平成 27 年、平成 30 年というのは出ていました。保護者でも P T A の役員でも、そうした意見が出ていたと思います。考慮しますということはある程度言っていましたが、もしそうなら、逆に保護者にどのように説明していくのかなど。保護者が納得できる説明が欲しいと思いますし、自分にも 5 年生の子がおり、来年、小学校を統合し、平成 30 年に岬中を統合するとの説明は、なかなか難しいと思います。</p> <p>先ほど、部活の件で野田中が田原中に行くときの、田原中の校長先生の話がありましたが、子どものことを思ってということと言うならば、保護者の意見も少し取り入れていただきたいということがあります。その意見のほかにも多分いろいろな意見があるので、この統合準備委員会で反映するようなことができないか。</p> <p>いろいろな意見を参考にしながら、ここで決めていくのではないかなという部分もあると思う。この統合準備委員会は何のためにあるのかという話になってしまうので、そういった議論もこの中でしていくのは必要なことかなと。子ども達の将来のた</p>

	めに話をするなら、その議題も中に入れて話をしてもらおう方が筋だと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	<p>小学校 6 年生のときに小学校が統合されて、今の和地小学校に伊良湖岬小ができるといういろいろな負担があると思います。</p> <p>それから、中学校 3 年生になったときに、また新しい学校に統合していく。いろいろな負担があると思います。まず、どういう負担が出てくるのかということを綿密に、先ほど事例を出してほしいということをおっしゃいましたので、そういったことを聞きながら、どんな負担があるのかまずは調べる。その上で、解決策をどうやって導いていくのかということが我々の仕事かなと思っています。</p> <p>確かに最短で学校をつくりたいという我々の気持ちから、平成 30 年に中学校を統合するとなっていますが、そうすることによって平成 32 年度に新しい中学校ができるということをやってきました。</p> <p>ですから、先ほど申し上げましたように何が負担になるのかということ、まず一個一個洗い出していきたいなと思っております。</p>
委員	それも検討事項の中に加えていただきたい。逆に、もしこのまま通すのであれば、しっかりと教育委員会で議論をして今の 5 年生の保護者に対して回答を出していただかないと、どこの学校でも説明会で出ている疑問だと思うので、それをないがしろにしないでほしいです。
委員	好きで統合したいと言っているわけではないので、ジャージなどの保護者負担についても、統合するときの負担の中の一つに入れて考えていただきたいとお願いします。
委員	前回、部活を選べると言われたと思いますが、結局は選べないのですか。
事務局	野田中と田原中の統合の話ですと、今の 1 年生の子が活動している部活は、従来の野田にある部活と、女の子で運動が得意ではない、それから音楽的なことも得意ではないといった子がいるので、学校の中で対応できる女子の剣道を設置したものです。
委員	田原中にある部活の中から選べるわけではないということですね。
事務局	<p>学校の中で、どれだけ先生が教えていけるかといったところで、先生の数が少なくて制限があるので、いろんな種目を教えられないのです。</p> <p>そうやって広げてしまうと、一つの部活の人数が減って大会にも出られない状況が起きてくる。男の子が、野球部ぎりぎり人数が集まっている中で、例えばバレー部をつくったりすると、そこで試合に出られない数になってしまう。</p>
委員	では、統合は決まっているが、統合するまでは旧中学校で活動するのですか。
事務局	旧中学校で活動して、子ども達には、自分達が努力してきたことを大会に出て成果を発表する活動にしたい。子どものことを考えたときに、その方が子どもにとっては中学校生活の中で、学校にある部活を一生懸命にやって成果を上げたという自信の方が大事ではないかなと学校側では思っています。
委員	それは野田中がある時点ではいいかもしれないが、野田中がなくなった時点の旧野田中の生徒のメンタルが一番問題ではないですか。学校があるうちはその学校で楽し

	くやった方がいいと思いますが、問題はその境目ですよ。
事務局	だから移行期の子ども達は、どちらかという従来の中での活動していった方がいいのでは。
委員	現状はそうだが、野田中がなくなって田原中になったときに、野田中の生徒達のメンタルを考えなければいけないのが先決ではないですか。
事務局	そうすると、どこで本当に自由に部活を選択できるかという、野田中で言うと小学校 6 年生から中学 1 年生に入って行って、自分達を選択できる状況になります。今の中学校 1 年生は 1 年間、野田中の従来の部活から選んで、2 年のとき田原中へ変わったときに、そこで選択肢をどう広げてあげるかというのは今後の課題です。どうするかについて、今、結論は出ていません。
委員	これから文化部を一つつくるという考えは。
教育長	それは、私が判断することではないので、統合することが視野に入ったときに中学校で検討してもらいます。
委員	運動が苦手な子は、文化部が一つあるといいと思いますが。
教育長	伊良湖岬中では従来ずっと文化部がない。みんなスポーツ系しか選択肢がないところに今までの伊良湖岬中の問題点があったと思います。それも先生がどのくらい指導できるかという問題も絡んでくるので、検討材料の一つになると思っています。
委員長	中学校の問題をここで話していると、いつまでも終わらないので、小学校の問題を中心に考えていただきたい。 先ほど、2 回学校が変わると、非常にメンタル面で子どもさんに影響があるのではないかということでしたが、あれはたしか平成 32 年度を、例えば平成 33 年度にすると 2 回変わることはないということですか。
委員	結局、中学校は、今ある建物に入るだけなのですぐできますと言っていましたよね。福江中か赤羽根中かを決めて、それを早める分なら幾らでも早められますという話でしたね。
事務局	そういう意見が出ればということです。統合をおくらせると今の小 4・小 3・小 2 になるし、もう 1 年おくらせれば小 3・小 2・小 1 の子どもが対象になってくると、どこの学年で統合になるかです。
委員長	2 回変わるということは、子どもさんというのはすごく順応性が強いので、僕はそれほど影響しないのではないかなと個人的には思っています。 ほかにどうでしょうか。いろいろ意見は出ましたが、「今後の考え方」について大局的な考え方を示しました。その考え方についてはどうでしょうか。その方向でよろしいでしょうか、どうでしょうか。
教育長	先ほど、委員さんから出された話などを含めて、子ども達が傷つかないように合流できるかという話は、どういう形で中学校をつくるかという中で、当然、話をしなければいけない話で、ほかの事例などを集めて、提案しながら議論していただければありがたいと思っています。 そういう点では、今、出された課題は今後の大事な話としてやっていきたい。その

	<p>ことと、きょう決めていただくことは別で、きょうの話は、伊良湖岬小を伊良湖岬中の場所に移す。それから中学校の移転先を決めるのはもうちょっと後にするという、その 2 点だけ決めてもらえればありがたいです。</p>
委員長	<p>それでは、今、教育長が言われました 2 点ですが、伊良湖岬小学校は平成 32 年 4 月に伊良湖岬中学校跡地に建設するということと、伊良湖岬中学校は平成 30 年 4 月に移転する。また、移転先については、1 年先の平成 27 年度末までに決めるということで、この考え方でいきたいと思いますが、どうでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>皆さんの意見を聞いて、事務局からこういう表現ではどうかと言っておりますので、ご説明します。</p> <p>2 番目の中学校の統合先については、平成 27 年度末に決定するとあります。これを、遅くとも平成 27 年度末までには地元の意見を聞きながら決定するというので、早い合意があれば、その段階で決めていくということで、「遅くとも平成 27 年度末までに地元の意見を聞いて決定していく」と訂正したいと思います。</p>
委員長	<p>こういう考え方で進めていきたいと思いますが、よろしいですか。</p>
	<p>（異議なし）</p>
委員長	<p>それでは異議なしということで、そのように進めさせていただきたいと思います。次に、協議事項の 2、スクールバスについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料 2 により説明）</p>
委員長	<p>説明が終わりました。ご意見・ご質問等がございましたら、お願いします。</p>
委員	<p>堀切校区のバス停の位置ですが、もう 1 カ所、西の方の人からフラワーパーク跡はどうかという意見がありました。調べてみたら、西の方の 4 世帯 5 人はフラワーパークから出てくれるなら、そちらの方に乗りたいとのことで、実際に距離を計測しましたが、距離が 500 から 600 メートルぐらいで民家はなくなってしまうのですが、その分、外灯は四つあったので、もし停車してくれるなら、この 4 世帯 5 人はフラワーパークから乗りたいとのことです。もう少し東寄りに停車できる場所があれば、もう少し乗る人がふえるのかなという感触でした。</p>
事務局	<p>統合に伴うスクールバスを運行することを考えているわけですが、各学校から和地小学校まで送るということで考えています。</p> <p>スクールバスは、幼稚園などのように家の近くで乗るというのではなくて、今の小学校の近くを集合場所にして、そこから送迎するという運行を考えました。一つの停留所にしても、安全性を考えなければいけないので、今は、この堀切市民館とか小塩津集落センターにバス停を決めて、和地交差点に着くようにしてやっっていこうと思っています。</p> <p>この前、PTA 部会のときに、伊良湖の港湾地区の方から、現在、集合場所まで車で送って、集合場所から歩く子どもがいるということで、港湾地区までバスを回してもらえないかという話もいただきました。それもあわせて考えていましたが、今の学校でも集合場所に歩いているので、集合場所からバスに乗って伊良湖岬小まで行くという考え方でいきたいと思っております。</p>

	<p>堀切校区と伊良湖校区の方は、今までの登校時間よりスクールバスの集合場所から和地まで行く時間分だけ、時間はかかるようになります。確かに堀切の西の方だと堀切市民館まで2キロメートル弱ぐらいになると思いますが、今までのように歩いて行ってもらえないかなと考えています。</p> <p>今後、運営していく中で、例えば改善した方がいいことがあったら、多少の改善ができる契約内容にしていきたいと思っておりますので、その辺でご理解いただければと思います。</p>
委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p> <p>このスクールバスについて、ほかに意見もないようですので、原案のとおりとすることでご異議ございませんか。</p>
	(異議なし)
委員長	<p>ご異議もないようですので、そのように決定いたしました。</p> <p>次に、報告事項ということで、各部会の方から報告をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>P T A 部会から報告します。12月までには役員を決めなければいけないということですので、主な6名について2学期中にとりまとめをお願いします。</p> <p>会費については、地区の方でまたお金の徴収をお願いしたい。母子家庭については別途、学校の方へ払っていただくということで、2段階の状態でお金を集めさせていただきたい。</p> <p>それから、現P T Aの解散ということで、10月に臨時P T A総会を開きます。それに当たりまして、会則について、この間、提案させていただいております。先に保護者や地域の方に案という形で出しておいて、ほかの行事とあわせた臨時総会などで承認していただいたり、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>スクールバスについては、先ほど説明があったとおりです。</p> <p>学校の指定用品で、現在、冬の体操服の選定がほぼ終わりました。</p> <p>シューズ、ヘルメットについては既に決定しております。それから、教材、給食等は全てJ Aの口座ということでもありますので、切りかえも可能であると思います。</p> <p>また一斉配信メールについては、3校とも同じものを使っておりますので、その切りかえについても研究しております。</p>
事務局	<p>教育課程部会です。かいつまんで、お話をさせていただきます。</p> <p>日課表の件ですが、先ほどスクールバスの運行時間の案が出されましたので、日程作成に取りかかっています。</p> <p>学校行事についてです。年間計画の作成については、3校の行事を全て取り組んでいくと3倍の行事が必要になってくるので、学校独自のものについては、ひとまず外した形で共通の行事をもとに作成していこうと思っております。P T A部会の方からも学校行事の年間予定を早く欲しいということですので、夏休みをめぐりに原案を作成していければと考えています。</p> <p>修学旅行については、平成27年度の修学旅行の業者を決定し、奈良の宿を確保しています。ことしの11月には3校の修学旅行が終わりますので、その後6年生の担任が</p>

集まって原案を作成し、見積もり等を進めていきたいと思っています。

阿南町との交流ですが、平成27年6月24日から26日で宿の少年自然の家を押さえました。今後、交流等も含めて検討していきたいと思っています。

事前交流会についてですが、様子をお話させていただきます。

6月27日に1年生、2年生、4年生が社会見学、校外学習等を兼ねて出かけました。4年生の校外学習を見に行きました。炭生館を見学後、蔵王山山頂で、3小学校のメンバーを混ぜた形でグループをつくりました。昼を食べている様子を担任の先生達と見ましたが、伊良湖小には特別支援学級がありません。和地小もないと思いますが、伊良湖小の子ども達が特別支援学級の子を見たときに、どう対応していいかわからずにいましたが、堀切小の子ども達がすごく丁寧にその子ども達に対応しているのを見ました。伊良湖小の子ども達にとっては、堀切小の子ども達のそういう優しい対応を見たことが、すごく勉強になったという話をしていました。

それから、5年生が阿南町の宿泊体験に出かけました。食物アレルギーのある子が、ほかの子と違うものを食べていることを伊良湖小の子達が見て、そういう子達がいるということを知り勉強してきたと聞いています。伊良湖小自体は人数が少ない中で生活しています。来年4月からの生活を考えると、今から数カ月ありますので、子ども達に情報提供しながら、ほかの子も含めていいスタートが切れるようにしていきたいと思っています。

次に部活動のことについて、お話をさせていただきます。

平成27年度ですが、4・5・6年生が全部で100名を超えます。その状態を3年ほど見たときに10名ほど人数が減っていきませんが、その3年間を見たときに、現在、伊良湖小等で行っている全員が運動部、全員が音楽部という形での部活動は難しいと。楽器の数が足りないこととか、水泳、陸上の練習をしているときに待ち時間が非常に長くなってしまったといったことがありますので、平成27年から3年ぐらいをめどに、運動部と音楽部に分かれて活動していく必要があるのではないかという話が出ています。ただ、現4年生、5年生については運動部活、音楽部活と両方やってきている関係で、来年度どちらに分かれるかを考えていかなければいけないということが話題になっています。今後、どのような対応をしていくかということを相談していきたいと思っています。

部活動のユニホームについては、デザイン等を出していただきながら業者の方から案が出ています。トータル40万円までで何とかおさまるという見通しは持ったので、今後、業者を決め、年度末までに購入を終えて、支払いまで済ませる方向で考えていますので、ご承知おきください。

備品については、学校の中のことで詳しく触れるのはやめておきますが、ただ、春休みに入ったところで、備品、消耗品の運搬等をPTAの方にご協力いただきたいと思っています。大きいものは、当然、教育委員会と相談して業者に運んでいただくことを考えていますが、細々したものについては何とかご協力いただきたいとお願いしておきます。

	<p>文書については、3校にそれぞれたくさんの文書がありますが、それを何とか1カ所にまとめてほしいということで、教育委員会に要望を上げています。詳細は、また後日、報告していききたいと思います。</p> <p>学校図書館の方ですが、和地小と堀切小、伊良湖小に司書さんが合わせて2名おりますが、そちらの方で準備を進めてもらっています。ただ、本とか本棚を運搬する関係で、1月末には学校図書館を閉館して運ぶ準備をしていかななくてはなりません。2月からについては、移動図書館を利用して子ども達が本を選べるようにしていきたいと考えています。</p> <p>学校予算については、同規模の学校の予算を見ながら要望等を考えていこうと思っています。</p>
委員長	地域部会で何か報告等がありましたら、お願いします。
委員	閉校記念式典の日程がある程度決まりました。それと一つには、和地はまだ小学校は使うわけですが、堀切、伊良湖の両校舎に関しましては、今のところ体育館の利用は、どうしても使いたいという意向と、それから校舎の利用に関しましては市の方からいろいろ案が出ましたが、役員さんと考えても利用度は余りないということで、できたら管理は市にお任せするという形で話がなされました。
事務局	閉校記念式典のときのドラゴン号について、堀切小が2月9日、伊良湖が2月10日、和地小が2月12日で日程の仮押さえをしました。中日新聞で号外の新聞をつくっていただけるものです。使うか使わないかといったことを、また日程の話の中で詰めていただければと思います。
委員長	それでは、その他に移りたいと思います。その他で、何かございませんか。
事務局	和地小の施設見学会と意見交換会の参加予定人数をお知らせいたします。 8月4日（月）54人、8月25日（月）25人で合計79人です。和地小18人、堀切小34人、伊良湖小14人、伊良湖岬保育園13人という状況です。
委員長	その他でございますか。
委員	どうしても気になるんですが、文化部をもしつくってもらえるならば、せめて今の5年生が中学校へ入学するときに選べる状況にしてほしいです。
事務局	私が文化部を設けるかどうかについては、明確に発言はできません。ご意見を聞かせていただいて検討していくということでお願いします。 もう一つ、教育委員会として、こういうご意見があったということで、例えば今の伊良湖岬中の部活動について見直しを図ってもらうように、結果が出るか出ないかわからないですが、地域の方々から運動ばかりでは良さが発揮できないので、文化部を設けてほしいという声がありましたということをお知らせいたします。
委員	統合先にある文化部をつくってもらえるのですか。
委員	そういう意見は伝えておきます。
委員長	次の開催日程ですが、事務局いかがですか。
事務局	次の開催日程は、9月3日（水）でどうでしょうか。
委員長	では、9月3日（水）午後7時から、場所は和地市民館で開催したいと思っていますの

平成 26 年 7 月 23 日 (水)

	<p>で、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の協議事項は、すべて終了しました。</p> <p>以上をもちまして、第 8 回の会議を終了いたします。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
--	--